

妙福寺
永代経法要資料

弁当を作る

あなたたちは”弁当の日”を二年間経験した最初の卒業生です。

だから十一回、”弁当の日”の弁当づくりを経験しました。「親が決して手伝わないでください」で始めた”弁当の日”でしたが、どうでしたか？

食事を作ることの大変さが分かり、家族をありがたく思った人は優しい人です。

友達や家族の調理の様子を見て、技を一つでも盗めた人は、自ら学ぶ人です。

こまやかな味の違いに調味料や隠し味を見抜いた人は、自分の感性を磨ける人です。

旬の野菜や魚の、色彩・香り・食感・味わいを楽しめた人は、心豊かな人です。

一粒の米・一個の白菜・一本の大根の中にも「命」を感じた人は、思いやりのある人です。

食材が弁当箱に収まるまでの道のりに、たくさんの働く人を思い描けた人は、想像力のある人です。

自分の弁当を「おいしい」と感じ、「うれしい」と思った人は、幸せな人生を送れる人です。

シャケの切り身に、生きていた姿を想像して「ごめん」が言えた人は、情け深い人です。

登下校の道すがら、稲や野菜が育っていくのをうれしく感じた人は、慈しむ心のある人です。

”弁当の日”で仲間が増えた人、友達を見直した人は、人と共に生きていける人です。

家族が作ってくれそうになるのを断れた人は、独り立ちしていく力のある人です。

「いただきます」、「ごちそうさま」が言えた人は、感謝の気持ちを忘れない人です。

家族が揃って食事をすることを楽しいと感じた人は、家族の愛に包まれた人です。

谷宮小学校の先生たちは、こんな人たちに成長してほしいって、2年間を取り組んできました。

おめでとう。

これであなたたちは、”弁当の日”をりっぱに卒業できました。

松下義男

(ビックコミック オリジナル 1015
「玄米先生の弁当箱」より引用)

食育基本法(平成十七年法律第六十三号)

目次

前文

第一章 総則(第一条 第十五条)

…

…

(食に関する感謝の念と理解)

第三条 食育の推進に当たっては、国民の食生活が、自然の恩恵の上に成り立っており、また、食に関わる人々の様々な活動に支えられていることについて、感謝の念や理解が深まるよう配慮されなければならない。

…